

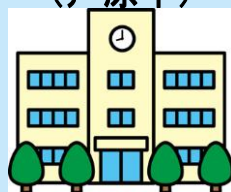
小中一貫教育（学校再編方法）

学校再編 ⇒ 「学校を市の東西で地域拠点化していく。」
東中学校区を拠点化できるのか？

- ① 1,600人の超マンモス校 ⇒ × ② 小学生の通学は ⇒ ×

東御市

芦原中学校区
(坂の上小・水明小・千曲小)
(芦原中)



900人

御代田町

小諸東中学校区
(野岸小・東小・美南ガ丘小)
(小諸東中)



1600人

軽井沢町

佐久市

作成者：清水喜久男

小中一貫教育（教育方法の違い）

広報こもろ⇒「2つ以上の校舎が分かれていても1つの学校」
小諸東中学校区を考えてのイメージではないか？

- ①現状の小中の状況と同様 ②校長は1人で対応可能か
③市内で教育方法（施設一体型・施設分離型）の違いを公表すべきである。

東御市

芦原中学校区
(坂の上小・水明小・千曲小)
(芦原中)

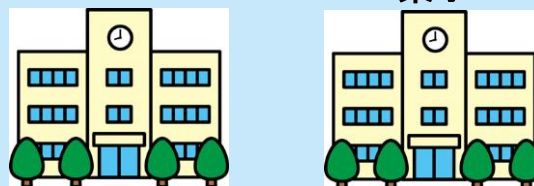


900人

御代田町

軽井沢町

小諸東中学校区
(小諸東中) 野岸小 東小



1600人

美南ガ丘小



佐久市

作成者：清水喜久男

小中一貫教育（義務教育学校） ⊗

学校とは、児童生徒に教育するだけの場所なのか？

- ① 若年層にとって生活の源 ⇨ 子どもを預け働ける環境
- ② 地域の活性化に繋がる ⇨ 若年層が住宅を建設する

東御市

芦原中学校区
(坂の上小・水明小・千曲小)
(芦原中)



小諸東中学校区
(野岸小・東小) + (小諸東中)



美南ガ丘小学校区
(美南ガ丘小) + (中学校併設)



御代田町

軽井沢町

佐久市

作成者：清水喜久男

小中一貫教育（義務教育学校を3校に）

3つの義務教育学校を検討すべきではないか？

人口減少は今後も続く、中学校区別に着目すると、人口が全体の6割を占める東中学校区では、佐久平駅に近い市の東南部で人口が増加している地区があることから減少割合は緩やかで、逆に全体の4割と少ない芦原中学校区では減少が早く進む。

【美南ガ丘小義務教育学校のメリット】

- ① 小諸市・佐久市・御代田町への通勤距離が少ないので、人口減少が緩やかであり、今後も若年層の住宅ニーズがある。
民間感覚で人口増加が予想される場所へ義務教育学校の設置が必要がある。
小諸市全体で人口が増えれば良い。
- ② 早急に、3つの義務教育学校の生徒数の推移、人口の推移、再編の経費を比較し結論を示すべきである。

